

チェーンソーよもやま話

これからシリーズで、チェーンソーに関する様々なお話をさせて頂きます。

但し、お話しする内容には、私見も含まれていることをご了承ください。

第6話

《チェーンオイル》

最近バッテリー式のチェーンソーも販売されるようになってきました。

始動にこまごました手順もいらず、なにより静粛性に優れているのでストレスも軽減できそうですね。

ただ気を付けなくてはならないのは、チェーンオイルの補給です。

チェーンオイルとは、ソーチェーンを潤滑に回転させるための油です。

燃料補給の手間がないので、バッテリー式の場合ついチェーンオイルの補給を忘れがちです。チェーンオイルが切れたままで使い続けると、ソーチェーンとガイドバーが焼き付いてしまいます。くれぐれもお気を付けてください。(最新の機種だとオイル切れ警告ランプが付いている)

エンジン式チェーンソーの場合、混合油の補給とチェーンオイルの補給は同時に行う癖をつけて下さい。(オイル切れのポカミスを防ぐため)

そして、混合油とチェーンオイルの補給口を間違わないように気を付けて下さいね。特に混合油側に誤ってチェーンオイルを注ぐと面倒なことになります。

また、一部の方には「滑りをスムーズにするのが目的だから、てんぷら油で充分」などと極論を言う方もいらっしゃいますが、ガイドバーの全体に油分を行き渡らせるには一定の粘度が必要です。機械を大切に使うためにも、なるべくチェーンソーメーカー推薦のオイルをお使いになられるようお勧めします。

チェーンオイルには、

- 鉱物性 = 石油由来のオイルで、比較的安価。ただし、ほかのオイルよりも土壌を汚しやすい等のデメリットあり。
- 植物性 = 環境に良いとされている。ただし、価格が割高。
- 生分解性 = バクテリアによる分解速度に優れているため環境に優しいとされる。価格は高価。

などの種類があります。